

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日 (土)

会場 日立第二高等学校体育館

【女子の部】 第2日目 Gコート 第4試合

チームA 市立船橋 千葉	79	{ 19 1Q 10 20 2Q 11 17 3Q 10 23 4Q 11 OT	42	チームB 三田尻女子 山口
--------------------	----	---	----	---------------------

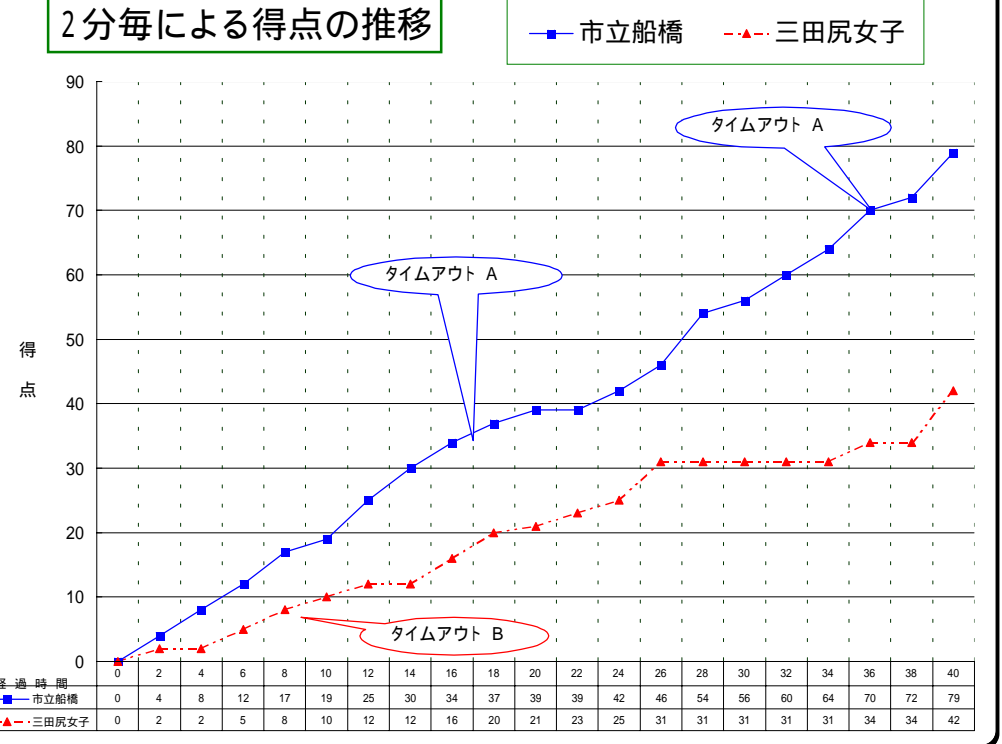
市立船橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	阿形美由紀	22	2	3	7	12	2	2	2	1	1	2	2	4	1	32
5	岩崎菜都美	10	0	0	4	13	2	2	0	2	5	7	1	2	2	28
6	馬杉 千絵	12	0	2	5	14	2	6	0	0	2	0	0	1	1	30
7	瀧口 純代	10	0	3	5	8	0	0	3	2	7	0	3	1	4	24
8	谷山由紀子	6	0	0	3	4	0	2	3	1	0	0	3	2	0	25
9	石田ともみ	8	2	3	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	11
10	長井 亜樹	4	0	0	1	2	2	2	1	2	1	1	0	1	0	13
11	富永 文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	中山理枝子	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
13	折井 嘉代	7	1	2	2	7	0	0	1	0	0	0	2	0	0	18
14	及川麻衣子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	7
15	渡辺亜希子	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
コーチ	村瀬 恵正								0							
		79	5	14	28	64	8	14	11	9	21	11	12	11	9	200
		確率	35.7%		43.8%		57.1%		計	30						

三田尻女子

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	木南 瑠衣	4	0	0	2	3	0	0	3	0	3	5	1	1	0	38
5	稗田 奈央	5	0	1	2	5	1	1	0	0	1	1	1	1	0	13
6	寺本 里絵	3	0	0	1	8	1	2	5	2	3	3	3	0	2	28
7	須江恵梨佳	6	2	9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	14
8	植田千賀子	13	1	2	4	11	2	4	1	0	3	4	1	1	0	30
9	濱本 薫	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	12
10	兼國 真美	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	0	0	7
11	内田このみ	6	2	2	0	3	0	0	2	0	1	2	0	0	0	23
12	釜崎 清	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
13	高崎ひとみ	5	0	4	1	7	3	4	3	0	3	4	1	2	0	30
14	井上 亜美															DNP
15	山根友里恵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
コーチ	小松 徹								0							
		42	5	18	10	42	7	11	16	3	16	22	8	5	3	200
		確率	27.8%		23.8%		63.6%		計	19						

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンのディフェンスでスタート。船橋は、インサイドの#5岩崎、#6馬杉を中心にパスが回り着実に得点を重ねる。一方、三田尻は船橋の激しいディフェンスの前にインサイドを攻められない。三田尻#8植田、#13高橋が積極的に1対1を仕掛けるが、得点が伸びず19 - 10で船橋がリード。

第2Pも市立船橋は執拗なディフェンスから#8谷山のスティール、#4阿形のナイスアシストや自らのジャンプシュート、#5岩崎、#6馬杉のポストプレイなどで次々に得点し39 - 21と船橋リードを広げる。

第3Pに入っても船橋のディフェンスが良く、押し気味に試合を進める。残り4分からはオールコート1 - 2 - 2にディフェンスを変えて激しくプレッシャーをかけて、三田尻のミスを誘う。更に点差が広がり56 - 31で船橋が大量リード。

第4Pも船橋は、オールコートでプレッシャーをかける。#4阿形や#6馬杉がスティールからよく走り、次々に船橋が得点する。結局、最後まで足の止まらなかった船橋のディフェンス力が三田尻を圧倒している試合だった。

主審 平川孝彦

副審 吉田憲生

記入者 坂本玄洋